

ミライ×環境 高校生ワークショップ

実施結果報告書

令和3年11月

株式会社 知識経営研究所

目次

1	ミライ×環境 高校生ワークショップの概要	1
	・ワークショップの目的	1
	・開催日程	1
2	ミライ×環境 高校生ワークショップのまとめ	2
	・第1回ワークショップ	2
	・第2回ワークショップ	10
	・今後に向けて	17

1 ミライ×環境 高校生ワークショップの概要

ワークショップの目的

ミライ×環境 高校生ワークショップは、区民の声を計画・施策に反映させる区民参画の一環として、将来を担う若者の声を広く伺うことを目的に、区内に在住または在学する高校生、環境基本計画検討委員会の学生委員をしている東洋大学及び東京家政大学の方と「10年後には実現したい北区の環境の将来イメージ」・「区役所からの効果的な情報発信方法」について、ZOOM（WEBミーティングシステム）を活用したグループワークによる意見交換を行った。

開催日程

開催日時		討議テーマ	参加者数
第1回	令和3年 11月10日(水)	(全体) ・北区環境基本計画の見直しについて (グループ単位) ・10年後には実現したい北区の環境の将来イメージについて (全体) ・各グループの意見発表	19名
第2回	令和3年 11月17日(水)	(グループ単位) ・前回ワークショップのおさらい ・区役所からの効果的な情報発信方法について (全体) ・各グループの意見発表	14名

2 ミライ×環境 高校生ワークショップのまとめ

第1回ワークショップ

実施プログラム

- 1 開会あいさつ
- 2 北区環境基本計画の見直しについて
- 3 10年後には実現したい北区の環境の将来イメージについての意見交換
 - (1) 討議テーマの説明
 - (2) 自己紹介・意見交換
 - (3) 各グループの意見発表
- 4 閉会あいさつ

説明スライド

ミライ×環境 高校生ワークショップ ●本日のスケジュール	
1 開会あいさつ	5分程度
2 討議テーマについて (10年後には実現したい北区の環境の将来イメージ)	5分程度
(1) 自己紹介・意見交換	90分程度
(2) 各グループの意見発表	15分程度
3 閉会あいさつ	5分程度

●北区の環境に関する取組み・方針

- 北区では「北区環境基本計画2015」という北区の環境や自然を守り、推進していくための方針をまとめています。
- この計画では「**自然環境共生都市 ～みんなが環境を考え・行動するまち～**」を目標として、その実現に向け、様々な活動内容を定めています。
- しかし、近年の地球環境をめぐる変化は大きく、この計画を社会情勢に合わせて見直すこととしました。
 - ・カーボンニュートラル（低炭素化から脱炭素化へ）
 - ・気候変動への適応（環境への影響に備えること）
 - ・資源循環（廃プラスチック、食品ロス）の問題
 - ・持続可能な開発目標（SDGs）

東京都北区 生活環境部 環境課
次期「北区環境基本計画」策定に向けた

**ミライ×環境
高校生ワーク
ショップ**

北区は「2050ゼロカーボン宣言」

●新たな取組みのひとつとして

北区ゼロカーボン宣言
～より持続可能な未来を創るために～

今私たちは、かつてないスピードで激しい環境変化の影響を受け、「気候危機」と呼ぶべき極めて深刻な状況に直面しています。

このまま、現状のペースで進むと、気候変動による深刻な被害がもたらされ、私たちの暮らしや健康に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。しかし、これからはより一歩、誰もが気候変動の影響を公平に受け、責任を分かち合い、自然と共に生きていくことを目指し、気候変動対策にリーダーシップを発揮し、持続可能な未来を創ります。

そこで私たちは、強い気候変動対策のもと、「2050年までに、温室効果ガス排出量をゼロ（カーボンニュートラル）」を目標とし、ここに気候変動対策への移行に協力し、努力をします。

2050年以降は、気候変動の影響はますます深刻化し、私たちの暮らしや健康に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。このままでは、気候変動による被害はますます深刻化し、私たちの暮らしや健康に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。

令和3年6月24日
東京都北区

● 皆様に考えていただきたいこと

地球温暖化による異常気象の頻発や食糧生産への影響、資源の枯渇、ごみの最終処分場の不足、海洋プラスチックなどの問題、生物多様性のバランスの崩壊、外来種の増加、みどりの減少、大気汚染や水質汚濁、ごみのポイ捨て……

私たちが暮らす北区は、身近な問題から地球規模の問題まで、さまざまな環境の課題に直面しています。

このような課題に対応し、

「水と緑がうるおう美しいまち」
 「誰もが豊かで健康に暮らし続けることのできるまち」
 「活力あふれる持続可能なまち」

そんな北区を明日へつないでいきたい

そのために、若いみなさんの声を聴かせてください

● 本日の討議テーマ

10年後に達成したい 北区の環境のイメージ

- 10年後も守り続けたい環境
- こんなまちになってほしい
- こんな取り組みや活動が広がっていてほしい
- 新しくこんな取り組みが実現すると良い

など

あまり難しく考えずに、
 北区の環境について、感じることを、思うことを
 自由に意見してください。

● 本日の討議テーマ

■ 環境基本計画のカバーする分野として

脱炭素、気候変動への対応 省エネルギー、再生可能エネルギー、まちの脱炭素化、気候変動への対応 など	環境施策の横断的な取組 環境に配慮した行動実践、環境教育・環境学習の推進、多様な主体とのパートナーシップなど
資源循環 持続可能な資源循環、循環経済 など	
自然・みどり、生物多様性 つるおいのある水辺・みどり、生物多様性、水循環 など	
安心・安全、快適 災害に強いまちづくり、身近な生活環境問題、まちの美化、まちの振興 など	

● 本日の討議テーマ

地球温暖化、気候変動	二酸化炭素、化石エネルギー、太陽光発電、再生可能エネルギー、水素エネルギー、北区ゼロカーボンシティ宣言、省エネ・節電、COOL CHOICE、電気自動車、燃料電池自動車、建物の省エネ化、森林吸収、集中豪雨による災害・防災対策、熱中症対策 など
ごみ資源循環	ごみ減量、ごみの分別、プラスチックごみ、資源ごみ、リサイクル利用、食品ロス、海洋プラスチックごみ、3R、エコバッグ、もったいない など
自然・みどり生物多様性	みどりの減少、飛鳥山・崖線のみどり、河川敷、赤羽自然観察公園、水辺、親水公園、希少な動植物、外来生物、ピオトープ、自然とのふれあい、公園、街路樹、生垣緑化、緑被率 など
安心・安全、快適	大気汚染、光化学スモッグ、PM2.5、水質汚濁、騒音・振動、化学物質、環境基準、ごみのポイ捨て、美化清掃、まちなみ景観、桜並木 など
エコ活動環境学習	エコなライフスタイル・ビジネススタイル、環境教育、環境学習、環境博覧、環境イベント、環境リーダー・ボランティア、環境情報、パートナーシップ など

● 皆様をお願いしたいこと

- **発言をしたい時は、手をあげて司会者に合図してください。**
- **参加者全員が対等な立場にあり、自由な発言を行うことを尊重しましょう。**
- **各参加者の発言を尊重し、はじめから否定したり、話を遮るような発言をしないよう配慮しましょう。**
- **各参加者ができるだけ多く発言できるよう、発言時間が長くないよう配慮しましょう。**

地球温暖化、気候変動についての主な意見

【地球温暖化について】

- ・夏が暑すぎて活動が制限される。部活等で猛暑日は中止になることもあった。
- ・冬に雪があまり降らない。季節感があまりなくなった。
- ・社会問題として地球温暖化という言葉をいつも意識してしまうことで、それ自体に対し気持ち的に暑苦しさを感じてしまうのではないかと。地球温暖化を別の表現で言ってみてもいいと思う。
- ・集中豪雨は温暖化対策を進めれば減らせるという認識が広がると良い。
- ・熱中症対策として巣鴨駅のミストシャワーのような設備が増えると良い。

【省エネ・節電、再生可能エネルギーについて】

- ・家庭でなるべく暖房を使わずウォームビズをしている。
- ・親潮発電など色々な再生可能エネルギーが研究されている。今までのエネルギー源を変えていくことによって持続可能な地域をつくれると思う。
- ・自然を意識して再生可能エネルギーを利用しているのに、自然を壊してしまうのは本末転倒かと思う。
- ・生きてるだけで発電できるとよい。自転車発電など日常で使うもので発電できると簡単にできるのではないかと思う。
- ・車やスマホもソーラーパネルで電気を賄えると良い。
- ・火力発電は減らすことができる。リスクはあるが原子力も効率よく発電できるものなので上手く使えばいいと思う。処理水などの環境への影響が気になる。
- ・葛西で水素バスが取り入れられている。他の区でも取り入れたらより脱炭素につながると思う。
- ・再生可能エネルギーの活用例や設置状況などの情報が伝わってこない。

ごみ、資源循環についての主な意見

【ごみ減量・分別について】

- ・電池はどうやって捨てるのかいつも悩んでしまう。
- ・マイボトル導入の取組やごみの分別の仕方をより改善していったほうがよい。
- ・分別の仕方についてもっと情報があると良い。
- ・学校などで分別の仕方を学べると良い。
- ・ごみの分別方法が自治体ごとにルールが違うのではなく、全国一律になっているとよい。
- ・パッケージの素材がビニールやプラスチックと紙が混ざっている。パッケージはすべて同じ素材にすればいいと思う。
- ・燃やすごみ、燃やさないごみなどの表記にするとわかりやすいと思う。
- ・ペットボトルはラベルとキャップは分別するものかと思っていた。家で分別しても結局一緒に燃やしてしまうんだと思った。
- ・ごみの分別や食品ロスを減らす、エコバッグ持参などの行動は実践しており、区民も取組みやすいと思う。このような取組はセミナーなどで広めていけるのではないか。
- ・10年後の北区として、1人1日当たりのごみ排出量が少ないまちになっていると良い。

【プラスチックごみについて】

- ・コンビニでの買い物でビニール袋をもらわなくても容器だったり、スプーンなどがプラスチックだったりする。
- ・レジ袋の有料化は良いことだと思う。エコバッグを持つ人が増えていくのではないか。
- ・ドラッグストアでアルバイトをしているが、有料レジ袋を買い続ける人もいる。その一方、エコバッグを持っている人がビニール袋を購入するという矛盾がある。
- ・プラスチックに代わるものや素材で製品ができるといい。
- ・企業がプラスチックから紙へ包装の素材を転換していけば海洋プラスチックごみも減っていくと思う。
- ・素材の紙への転換も結局は木の伐採の影響がある。ある問題の解決を図ろうとすることにより今度は他の問題も発生してしまう。
- ・ペットボトルを何本か捨てるとうペットボトル飲料が一本もらえるなど、捨てる側が得になるような取組があればよい。

【3Rについて】

- ・東京都ではサーマルリサイクルをしているが、逆に言えば分別しなくても何でも燃やせるというように捉えられてしまっているのではないか。
- ・姉妹で服のおさがりを着ていて、最近、姪ができたのでおさがりを譲った。これもごみ削減につながっているのではと思う。
- ・服で言えばファストファッションが増えてきて、流行に合わせて買ってすぐに捨てるというような状況がある。良いものを買って長く使うというような文化が根付くと良い。
- ・学校の授業でサーキュラーエコノミーについて講演があった。将来のごみや経済について話し合う機会となった。

ごみ、資源循環についての主な意見

【食品ロスについて】

- ・ イベント時などのお弁当などは、必要な量を準備するようしたり、クーラーボックスなどで保管できると傷まず廃棄までの期間が延びるのではないか。
- ・ 中学のときに給食時のクラス間でのおかわり自由を提案した。食品ロスの取組として効果があった。
- ・ 閉店時間間際まで提供するお惣菜の量を考えたほうがいいと思う。
- ・ 賞味期限が近いがまだ食べられるものを国内で提供できる仕組みがあるといい。

自然・みどり、生物多様性についての主な意見

【自然とのふれあいについて】

- ・通学途中であまりみどりを気にする機会がない。みどりを増やすだけではなく、みどりがある場所をもっと知ってもらい・気づきやすくする取組があれば面白い。
- ・学校で都内バスツアーがあり都心を回った際、思ったよりみどりがあって驚いた。
- ・マンションの敷地にみどりがあり、そこでみどりを感じることもある。
- ・建物の屋上に緑があると、そこに行きたくなる。

【みどりの増加について】

- ・住宅地で遊べる公園が少ない。北区は高齢者率が高い。高齢者とのコミュニティ形成は重要。住宅地でも公園があることによって新しいコミュニティ形成につながると思う。
- ・公園のように大々的にみどりを増やすのではなく、例えば通学路のような日々の生活の中で係るみどりを増やすことで生活が豊かに感じられると思う。
- ・北とぴあ辺りの沿線は紫陽花が綺麗で鉄道ファンの写真スポットとして有名だが、電車の窓から見えるみどりが少ない印象がある。電車から見える場所にみどりを増やしてもいいと思う。
- ・勉強や仕事する環境に観葉植物を置いていると集中力や作業効率が上がったりするという話を聞いたことがあるので、学校や職場とかに取り入れてほしい。

【緑化活動への参加について】

- ・ボランティア活動が学校の内申書に加味されれば、高校生等も地域の緑化活動に参加すると思われる。
- ・例えば区役所の敷地内の花壇に種を置き、誰でも蒔いて育てられる場所を提供すれば来庁者が気軽にやるかもしれない。また、花などを使った地域のアーティスト等の方の表現の場にもなり、地域活性化やコミュニティの提供にもつながる。

【生物多様性について】

- ・授業で音無親水公園の生きもの調査をしたことがあるが、けっこう色々な生物がいてびっくりしたので、10年後も生物多様性を守ってほしいと思う。
- ・外来生物のカメなどを大きくなって飼育できずに川などに捨てる人がいて、地域の在来種を駆逐しているというニュースを見て、外来生物の問題に興味を持った。
- ・水質がきれいになって、きれいなところにしか生息できない魚がいるようなまちになっていると良い。

安心・安全、快適についての主な意見

【まちの美化について】

- ・学校の行事で海にごみ拾いに行ったが、漂着しているごみが多くてびっくりした。
- ・赤羽駅周辺のごみのポイ捨てが気になる。
- ・ごみを捨てられる場所は実は大通りとかではなく、裏路地など汚い場所が多い。心理的に捨てたくなるような場所を無くしていくことも取組として考えられる。
- ・繁華街のポイ捨てがないまちになっていると良い。
- ・日本は駅やコンビニぐらいでごみ箱が街中にあまりない。海外はごみ箱が多い。ごみ箱があることによってポイ捨ては減るのではないか。
- ・先日、表参道に遊びに行ったが缶やペットボトルなどを分別して捨てられるようにごみ箱が設置されており、すごいなと思った。
- ・例えば、ごみを捨てられる場所をアプリなどで表示できるようにするとか。家庭ごみの投棄については防犯カメラを設置するとか。
- ・シンガポールでは条例でポイ捨てについて厳しく取り締まっている。規制することでポイ捨てやプラスチックごみの削減解決につながる。
- ・海外にはごみ箱の付属パイプが地下で集積場とつながっており、ある程度溜まったらそこに送られるという仕組みがある。そういったものがあるとよい。

エコ活動、環境学習についての主な意見

【未来の住宅・エコなライフスタイルについて】

- ・ガラス張りで太陽とともに起きて、太陽とともに眠る自然を浴びれる家。太陽光発電があって自給自足の家。吹き抜けがあり、風通しが良くて、空間を感じられる家。
- ・外観も内装もきれいな家。きれいな家だときれいに使えると思う。
- ・IOTを取り入れながらも自然を感じられる家。防音も気にしなくてよい家。
- ・家で普段することで発電できて、自家発電だけで賄える家。
- ・ツリーハウスや丸太小屋など自然と触れ合える家。自給自足で何人かとシェアしながらの生活。
- ・自然や木に囲まれた木材を使用した家。日に当たりやすくガラスで囲まれていて太陽の光を取り込める。野球場のボールを打つ音が聞こえる家。
- ・車は駐車場の維持費とか掛かるため、そういった面でカーシェアのほうがよい。

エコ活動、環境学習についての主な意見

【環境学習・環境イベントについて】

- ・環境について学ぶときに講座形式のものではなく体験型のものであれば、友達とも一緒に参加できるし、思い出づくりにもつながる。
- ・遊び感覚で環境を学べる機会や活動が増えていると良い。増やすと同時に情報を発信してほしい。
- ・北区は公園が多いので遊び感覚で生きもの調査をやって生きもの図鑑をつくる。
- ・授業で地球温暖化が進んだ状態の将来予測を映像で見たときは衝撃的であった。映像形式であれば、分かりやすくもっと危機感をアピールできると思う。教育の場でもバーチャルなど発信していければ良いのではないか。
- ・地球規模の環境問題など大きな問題は実感しにくいかもしれない。学校の中でも実験だったり、映像を活用するなどがあっても良い。
- ・スポーツごみ拾いなども良いのではないか。
- ・ARやVRを活用した環境イベントなども考えられる。
- ・今回のWSのような機会が増えて、若い世代が意見を言ったり、環境イベントなどで活躍できる場が増えていると良い。

【環境情報について】

- ・遊び感覚も大事だが、北区は情報発信が得意ではないようなのでSNSやインスタなどを活用してはどうか。
- ・スポーツ関係の施設が多いので、そのような施設をうまく使って環境情報の発信があっても良い。
- ・今回のWSは学校で教えてもらった。このような機会や環境イベントなどは学校でも発信してもらえると良い。
- ・例えば、北区ゼロカーボン宣言を電車内広告などで発信すればもっと多くの人に伝わるのではないか。
- ・区の公式サイトなどでも、若い人の参加を募集しているイベントなどをすぐ確認できるようなまとめサイトなどがあると良い。
- ・災害時の避難経路や避難場所などの情報が分かると良い。

第2回ワークショップ

実施プログラム

- 1 開会あいさつ
- 2 本日の討議テーマの説明
- 3 区役所からの効果的な情報発信方法についての意見交換
 - (1) 前回ワークショップのおさらい・意見交換
 - (2) 各グループの意見発表
- 4 閉会あいさつ

説明スライド

ミライ×環境 高校生ワークショップ ●本日のスケジュール	
1 開会あいさつ	5分程度
2 討議テーマについて (区役所からの効果的な情報発信方法について)	5分程度
3 グループ討議	
(1) 前回ワークショップのおさらい・意見交換	80分程度
(2) 各グループの意見発表	15分程度
4 閉会あいさつ	5分程度

東京都北区 生活環境部 環境課
次期「北区環境基本計画」策定に向けた

**ミライ×環境
高校生ワーク
ショップ**

北区は「2050ゼロカーボン宣言」

● 環境に関わる情報発信の問題

北区の環境をより良いものにしていくためには、行政だけでなく、区民や事業者の協力が不可欠

- 省エネ行動やごみの減量化や分別などの日常的な環境活動については、習慣として定着している。
- 地域ぐるみでの環境活動については、参加率が10%以下で低い。

● マンパワーを必要とする環境活動や、より積極的な省エネ行動やごみ減量活動を進めていくためには、参加率の向上に向けた工夫が必要

● 環境に関わる情報発信の問題

■ 環境活動への参加の状況 (北区の環境に関する意識・参加割合 8/3より)



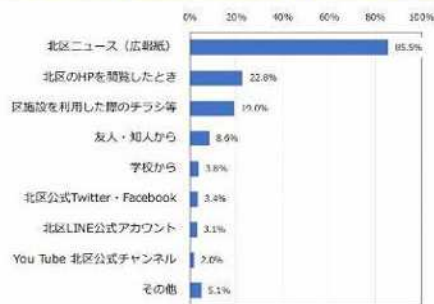
● 環境に関わる情報発信の問題

■ なぜ環境活動に参加しないのか？

環境情報・ライフスタイル	環境内訳・環境のイメージ
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域・市町村のホームページに環境情報が掲載されていない。 ● 地域・市町村のホームページに環境情報が掲載されているが、わかりにくい。 ● 地域・市町村のホームページに環境情報が掲載されているが、更新が滞っている。 ● 地域・市町村のホームページに環境情報が掲載されているが、内容が充実していない。 ● 地域・市町村のホームページに環境情報が掲載されているが、アクセスが難しい。 ● 地域・市町村のホームページに環境情報が掲載されているが、情報が古すぎる。 ● 地域・市町村のホームページに環境情報が掲載されているが、情報が重複している。 ● 地域・市町村のホームページに環境情報が掲載されているが、情報がわかりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境活動に参加する人が少ない。 ● 環境活動に参加する人が少ない。 ● 環境活動に参加する人が少ない。 ● 環境活動に参加する人が少ない。 ● 環境活動に参加する人が少ない。 ● 環境活動に参加する人が少ない。 ● 環境活動に参加する人が少ない。 ● 環境活動に参加する人が少ない。 ● 環境活動に参加する人が少ない。
情報発信	参加するまでのプロセス
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域・市町村のホームページに環境情報が掲載されていない。 ● 地域・市町村のホームページに環境情報が掲載されているが、わかりにくい。 ● 地域・市町村のホームページに環境情報が掲載されているが、更新が滞っている。 ● 地域・市町村のホームページに環境情報が掲載されているが、内容が充実していない。 ● 地域・市町村のホームページに環境情報が掲載されているが、アクセスが難しい。 ● 地域・市町村のホームページに環境情報が掲載されているが、情報が古すぎる。 ● 地域・市町村のホームページに環境情報が掲載されているが、情報が重複している。 ● 地域・市町村のホームページに環境情報が掲載されているが、情報がわかりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境活動に参加する人が少ない。 ● 環境活動に参加する人が少ない。 ● 環境活動に参加する人が少ない。 ● 環境活動に参加する人が少ない。 ● 環境活動に参加する人が少ない。 ● 環境活動に参加する人が少ない。 ● 環境活動に参加する人が少ない。 ● 環境活動に参加する人が少ない。 ● 環境活動に参加する人が少ない。

● 環境に関わる情報発信の問題

■ 区の環境情報の入手先 (北区の環境に関する意識・意向調査 R3より)



● 環境に関わる情報発信の問題

■ 区の環境情報の入手先 (北区の環境に関する意識・意向調査 R3より)



● 環境に関わる情報発信の問題

■ 区の環境情報の入手先 (北区の環境に関する意識・意向調査 R3より)



● 環境に関わる情報発信の問題

■ 北区公式Facebook



● 環境に関わる情報発信の問題

■ 北区公式Twitter (フォロワー数1.2万人)



● 環境に関わる情報発信の問題

■ 北区公式Youtube (チャンネル登録者数1,270人)



● 本日の討議テーマ

- 公式Facebook、公式Twitter、公式Youtubeの登録者数、視聴数を上げるための工夫
- 意図しなくても環境活動に関する情報にふれさせるための工夫

▶ 皆さんの意見をふまえて、庁内において実施手法を検討し、試行してみる

● 環境に関わる情報発信の問題

議論のポイント

情報入手先ごとに、それぞれどのような工夫をこらすべきか

- 北区ニュースだけでなく、それぞれの発信媒体の特徴に応じた工夫が必要



- 若い世代が主要な情報の入手先としているインターネット、SNSでの情報発信の工夫が必要

● 環境に関わる情報発信の問題

議論のポイント

環境活動について無関心層の興味をどう引き付けるか

- 北区の環境をより良いものにしていくためには、北区だけでなく、区民や事業者の協力が不可欠



- これまでも環境活動に関する情報発信を実施しているが、興味があれば、情報は取得してくれない。



- 意図しなくても環境活動に関する情報にふれさせるための工夫が必要
 - > 既存の媒体（北区ニュース、SNS以外工夫）
 - > 伝える情報の内容（活動は楽しそう、簡単そう、活動の目的は違うが、ついでに環境向上にも貢献できる など）

● 皆さんにお願いしたいこと

- 発言をしたい時は、手をあげて司会者に合図してください。
- 参加者全員が対等な立場にあり、自由な発言を行うことを尊重しましょう。
- 各参加者の発言を尊重し、はじめから否定したり、話を遮るような発言をしないよう配慮しましょう。
- 各参加者ができるだけ多く発言できるよう、発言時間が長くならないよう配慮しましょう。

SNS等の登録者数、視聴数増加の ための工夫についての主な意見

【SNSをはじめとする情報発信全般について】

- ・情報入手については、スマホ、PCを使っただけの動画が多い。自らサイトにいくというより、目に留まったら拾うという感じ。
- ・興味を持たないとSNSは基本見ない。興味をひくような有益な情報発信をしているものについては一方方向でも見る。まず北区のとやっていることに興味を持ってもらわないと登録・視聴に繋がらないので、魅力のある活動を企画する。
- ・Twitter、Instagram、LINEが主流。TikTok、Pinterest（ピンタレスト）（※画像で情報検索できるもの）なども活用している。
- ・SNSには、写真→文字（Instagram）、文字→写真（Twitter）と2種類の流れがある。Instagramのように写真からの方が目から情報が入ってくるので印象に残る。

【効果的な情報発信方法について】

- ・SNSであまり検索はしない。これまでの履歴や関連するハッシュタグでお薦めが上がってくるので、お薦めにあがるような工夫が必要である。
- ・環境に興味のない人を振り向かせるのは難しい。YoutubeやInstagramなどで短い動画をつくって投稿することが増えているので、関連動画として目につく機会があがると良い。
- ・短い動画などで視聴数を掴み、その後、長い動画を見てもらうこともできる。
- ・北区のマスコットキャラクターを活用してはどうか。
- ・例えば北区自体をキャラクターにして、そのキャラクターを通じて発信することで発信力が増すのではないかな。
- ・区長自らが動画でPRするのも良いのではないかな。
- ・若い世代がよく知っている著名人や北区にゆかりの深い著名人などを、宣伝モデルに起用しても良いのではないかな。
- ・毎日投稿するのは大変だと思うが、継続的に情報発信をすることが大切だと思う。
- ・環境に関する情報に関しては、学校から配布されるチラシなどで知ることが多い。

【効果的な情報発信内容について】

- ・単なる情報発信ではなく、閲覧者が一緒になり面白くなれるようなコンテンツが必要。
- ・環境関連イベントに参加した人が発信源になるような工夫も必要ではないかな。例えば、こんな素敵な場所に行ったみたいな風景をInstagramでアップすれば知人にも拡散できる。
- ・人気のTikTokerが言っていたのは、何かのチャレンジ系の動画は再生回数が伸びると言っていた。
- ・北区内の情報に留まらず、例えば荒川区の美味しいレストランの情報を北区が発信するなど、周辺地区と協力し対象者を区内だけでなく、区外にも目を向けることで区外の人で興味を持つ人もいると思う。

SNS等の登録者数、視聴数増加の ための工夫についての主な意見

【Twitterについて】

- ・ハッシュタグ#をつけるとよい。#北区のいいところ、などでツイートを募集することも考えられる。
- ・省エネ行動は家計の節約にもつながるので、節約の観点からTwitterでつぶやくのも効果がありそう。
- ・Twitterなどで色々な情報を閲覧する際の情報の取捨選択として、パッと見た際の添付画像のインパクト（綺麗さ・丁寧さなど）がある。

【Youtubeについて】

- ・YouTubeではサムネイルが凝っていないと視聴に繋がらない。北区のYouTubeのサムネイルは固い印象を受ける。インパクトや親しみのあるものだと視聴に繋がるのでは。
- ・公式Youtubeでは活動状況についての動画が多かったが、イベント告知や参会者募集などの短い動画をアップしても良いのではないか。
- ・チャンネルとしてのカラーがあるとよい。#ゆるきゃらでザッピングをしていくと引っかかることも考えられる。インフルエンサーなども、知名度のある北区ならではのキャラクターを出していくなど。
- ・小学生のなりたい職業がYoutuberなので、動画を小学生に作ってもらうのはどうか。動画を作る過程で環境問題についても学び、アップロードした動画は友達や家庭で見てもらえるのではないか。
- ・農水省のYoutubeは面白い動画が多い。

意図しなくても環境活動関連情報に ふれさせるための工夫についての主な意見

【情報掲載内容について】

- ・ 広告や看板もある程度効果はあると思うが、視覚には残るが記憶には残らない。他との違いを出さないと目を引かない。
- ・ 環境に配慮した商品を選ぶクイズを人が集まる場所に掲示するなどの取組もできそう。

【情報掲載場所について】

- ・ 電車内の車両ビジョンへの広告や駅構内にポスターを掲示するなど、日常生活の中で目に入りやすい場所に情報を掲載することで必然的に情報が入手できるようにする。
- ・ 電車のなかやバスの待ち時間はスマホをみているので目線が下がる。低い位置への広告も効果があると思う。
- ・ 上野駅の階段の広告が、本来ある位置ではなく斜めにすることで違和感を出している。このような形で差別化を出せるのではないか。
- ・ 買い物は誰でも行うため、スーパーやコンビニなどで事業のポスターを掲示してもらうことで多くの人に情報が触れる機会をつくる。

【連携による発信について】

- ・ 大学の講義で環境に関するポスター作成を行った。例えば、大学と区が連携してそのようなポスターの中から優秀なものを実際に使用するなどの取組を行えば、ポスター作成の作業の中で自然に環境に関する学びになるのではないか。
- ・ 今回のWSも学校経由で知ったので、学校と連携するのが良いのではないか。
- ・ 大学の授業との連携があっても良いのでは。

意図しなくても環境活動関連情報に ふれさせるための工夫についての主な意見

【環境イベントの内容全般について】

- ・イベントは一方的に情報発信する場ではなく、参加者側が自発的に興味をもって参加できるような工夫があるとよい。
- ・区のイベントの応援に行った。すごろくをしたが小学生向けであればサイズを大きくする、文字を大きくするなどターゲットに合わせた方がよい。また、イベント自体もターゲットを絞り込んだ方がよいと思う。
- ・子どもが行きたくなる場所と親が行きたくなる場所は違うと思うので、家族みんなが行きたいと思うようなイベントがあると良い。
- ・今のイベント内容はお年をめされた方の参加が多いと思う、若い世代の参加が自分たちだけだと参加を躊躇する。高校生・大学生限定など、世代を絞ったイベントがあっても良い。
- ・友達同士で参加し、写真の投稿やつぶやきができるような楽しいイベントだと良い。
- ・お台場でプロジェクションマッピングなどがあるが、視覚的に訴える環境イベントがあっても良いかもしれない。
- ・環境学習講座などでは持って帰って後で使えるものを作るといった楽しみがあると良い。作ったものがごみにならないもの、持って帰って使えるものなどの工夫も必要ではないか。

【環境イベントの他分野との連携について】

- ・アンケートを実施し、興味の多かった分野（スポーツなど）と環境をコラボレーションしたイベントを開催する。
- ・環境関連事業で参加率が低かったターゲット層を分析し、そのターゲット層に合わせた事業展開が重要。例えば40代男性だとコーヒー好きの方が多いというような傾向を踏まえ、区内のコーヒーショップとコラボレーションをした事業を実施。まず取組を認知してもらうことが、次のステップに繋がる。
- ・環境問題をテーマにした写真や建築コンペを開催することで、普段環境に興味はない写真や建築好きの人たちにも、興味をもってもらえる機会がつかれる。大学と連携することでコンペに興味のある学生も参加するのではないか。

【環境イベントの実施時期について】

- ・環境イベントなどは、大学生は長期休みは参加しやすい。その時期に学生のコンペとかあれば参加してみたいと思う。
- ・高校生は夏休みの昼間だと参加しやすい。高校にもよるが長期休み明けは定期テストがあったりするので、日曜日の昼間が参加しやすい。平日は学校や塾などで対応が難しい。

意図しなくても環境活動関連情報に ふれさせるための工夫についての主な意見

【環境活動への参加者増加全般について】

- ・すぐにできること、簡単にできることから始めてもらう。短いことばで端的に。黒字に白抜きで「ごみはひろう」など。
- ・例えば、事業参加者のうち抽選で1000円分の図書カードをあげるなど事業参加者への参加に伴うリターン（メリット）を提示すると参加したくなるのではないか。
- ・プラスチックごみを食べたウミガメなどショッキングな映像が心に残った。ショッキングな映像がいいとは言えないが、他人事ではないという気持ちにさせるのが必要。
- ・例えば、北区の1人一日のごみ量などで広告やオブジェをつくり、「このごみはあなたたちが出しています」など訴えることも考えられる。

【若年層の参加者増加について】

- ・中高校生に参加を呼び掛けると高校生の参加が多くなりそう。大学推薦を狙っている学生は、コロナ禍でポートフォリオに書けることが少なくなっているため、活動参加を考える学生も多いのではないか。
- ・インターネットで情報を見てもプロジェクトに参加するわけではない。学校でプリントを渡して参加を募るほうが確実である。それにより保護者にも情報が伝わる。直接の働きかけも重要。
- ・区内の学校に図工の作品などとして応募してもらうのもよい。コロナ禍でもマスクケースのデザイン募集などがあったので、区内の学校に作品を提供してもらうのもいい。

今後に向けて

個別具体のアイデア・意見については、今後検討予定の環境施策の展開方針や内容に活用させて頂くとともに、下記情報発信及び事業実施の現場における工夫、改善点、イベント等の企画アイデアとして参考にさせていただきます。

●興味をひきつける情報発信の方法の検討

- ・北区の環境をPRする動画の募集、環境をテーマにした風景や写真の投稿募集
- ・キャラクターを活用した情報発信
- ・年齢層や職業で日常的に触れる機会が多い場所と連携した情報発信 など

●参加したくなる講座やイベントの企画、運営方法の検討

- ・環境をテーマにしたフォトコンテストや建築コンペ
- ・ごみや廃材を使った広告作品の募集
- ・年齢層やターゲット別のイベントの開催 など

以上

施策検討（区民との連携・情報発信・環境学習）

1. 環境教育等促進法

- 平成15（2003）年公布の環境教育等促進法が平成23（2011）年に改正され、**ESD「持続可能な開発のための教育」**の理念が明確化。学校のみならず、家庭、職場、地域等のあらゆる場で自発的な環境教育が行われるよう、人材づくりにつながる認定制度の充実化や協働取組に係る具体的規程が追加された。
- 平成30（2018）年に環境教育等促進法基本方針が変更され、環境教育において、より体験活動が重要視されることとなり、**地域や民間企業が取り組む「体験の機会の場」を「地域や国を超えた交流の拠点」として位置づけ**、持続可能な社会づくりに活用していくこととされている。

2. 学校での環境教育

- 環境教育指導資料が1990年代から発行されており、平成13（2001）年からの総合的な学習の時間で、総合的な課題として環境教育が取り上げられるようになった。総合的な学習の時間以外でも、社会科、理科などの単元において環境教育の機会が設けられている。
- 平成29年～31年にかけて改訂された学習指導要領において、前文に「**持続可能な社会の創り手となることができるように**」と明記されたことにより、ESD「持続可能な開発のための教育」が学習指導要領に位置付けられた。
- 環境教育は、ESD「持続可能な開発のための教育」に包含されるものとして、SDGsという目標達成に向けた人づくりのための教育とされている。



出典：文部科学省

3. 北区における主な取組み

北区環境大学・エコベルデ・自然ふれあい情報館

- 「北区環境大学」事業では、環境問題に対し自ら考え行動する力を養うことを目的とした講座が、幼児とその家族、小学生、中高生、社会人・大学生など、それぞれの年代に応じて開催している。
- 「みどりと環境の情報館（エコベルデ）」では、区民のみどりへの関心高揚を目的として、園芸や自然に関する講座を開催している。
- 「自然ふれあい情報館」では、区民が楽しみながら自然環境への理解を深めるための講座を開催している。

環境学習リーダー養成講座

- 地域における環境活動を実践し、持続可能な社会を担う人材育成およびその活動などを支援することを目的とした「環境学習リーダー養成講座」などにより、次世代の環境活動の牽引役・担い手づくりを行っている。環境学習リーダーの登録制度を整え、更なる活用・支援の拡大を図る。

省エネ道場・環境活動自己診断事業

- 広く環境について学ぶ機会の場として「省エネ道場」を開催、「北区ecoかるた」を活用したかるた遊びや、体験型の学ぶ機会を提供している。
- 区立小学校の児童が、夏休みの間に日常生活での省エネルギーやリサイクルの取組みなどをチェックする環境活動自己診断事業を実施している。

ごみと資源の環境学習・エコエコツアー

- 学生・中学生とその保護者を対象に、リサイクル施設などの見学を行う「エコエコツアー」、清掃車の試乗やごみの分別クイズなどを行う、小学校等への出張講座を実施している。

エコー広場館

- リサイクル活動の拠点として、フリーマーケットなどのイベントが実施されている。

学校における環境教育

- 「北区教育ビジョン2020」では、特色ある教育活動の1つとして、環境教育の推進が図られている。

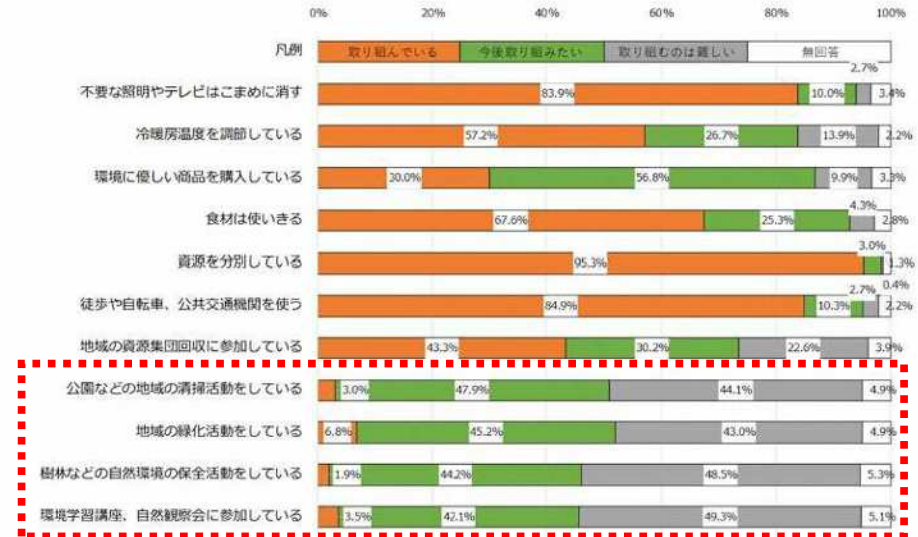
各教科や総合的な学習の時間等における環境についての学習を通し、環境や環境問題に関心・知識をもち、持続可能な社会の構築を目指してより環境の創造活動に主体的に参加し、環境への責任ある行動を自主的にとることのできる児童・生徒を育成することとしている。

- また、SDGsの達成に向け、主要課題における基礎学力の保証や「持続可能な社会の創り手」の育成を見据えた授業改善の実施が重点事業として進められている。

学校教育のICT化

- 平成27（2015）年度までに小学校全校に電子黒板1台とすべての教室に大型デジタルテレビを導入。中学校のすべての教室に電子黒板を設置。
- 老朽化が進むデジタルテレビ・電子黒板は、令和6（2023）年度までにプロジェクターに入れ替え予定。
- 校内無線LANの再構築とタブレット型端末の全小・中学校への配置。
- 校務用、教務用パソコンの導入。

4. 環境活動への参加状況（区民意識調査結果より）



- 日常的な省エネ行動やごみ・資源の分別活動は、習慣として定着しているが、地域の環境活動や環境学習講座・自然観察会などへの参加率は10%以下となっている。時間的な制約のほか、そもそも活動があることを知らないという回答も多い。

5. 施策検討にあたっての課題

- 区民や事業者の興味をひきつける情報発信の方法の検討。
- 参加したくなる講座やイベントの企画、運営方法の検討。
- 一部未実施となっているネットワークづくり、パートナーシップによる事業実施、表彰・公表制度の取組みを実効するための事業の方向性や仕組みなどの検討
- 次世代の担い手育成のプログラムの一つとして、学校におけるESD教育と地域や事業者との連携の検討

区民との連携・情報発信・環境学習に関する施策・事業のイメージ

情報発信・情報交流

SNS等を活用した情報発信の工夫

- 北区的环境をPRする動画の募集
- 環境をテーマにした風景や写真の投稿募集
- 著名人、インフルエンサーとのコラボレーション
- キャラクターを活用した情報発信 など

情報発信・情報交流の場の創出

- SNSを活用した情報交流の機会
- 定期的なWSや事業者交流会 など

協働・連携型の情報発信

- 年齢層や職業で日常的に触れる機会の多い場所と連携した情報発信 など

学校との連携

スクールエコ・チャレンジ

- 地域連携、温暖化対策、リサイクルなどテーマを設定し、授業や委員会活動などでの取組みを促進
- 学校での環境活動を報告をもとに優良校を表彰。専用サイトや情報交換会などで取組み事例を共有。
- 学校・地域独自の取組みとして、周辺事業者との連携や地域の環境専門家との連携 など

イベント

参加型・体験型イベントの実施

- ごみや廃材を使った広告作品の募集
- 年齢層やターゲット別のイベントの開催 など

協働企画型環境イベントの開催

- ポスター等でのイベント案の募集、協働開催
- 年齢層やターゲット別のイベントの開催 など

コンテストや表彰制度の活用

- 環境をテーマにしたフォトコンテストや建築コンペ
- 環境に取り組んでいる事業者の認定、表彰制度 など

ICTを活用した環境学習

ICTを活用した環境学習ツール開発

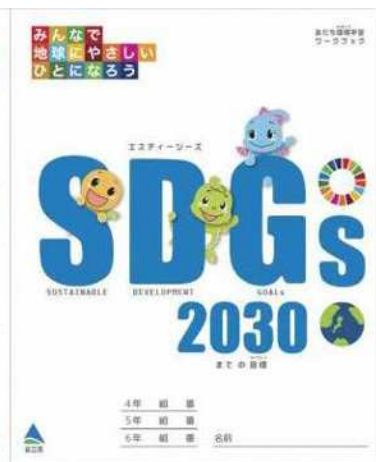
- 環境活動自己診断事業のアプリ化
- 省エネ道場のアーカイブ配信 など

足立区環境学習教材（例）

うんこSDGsドリル ～環境編～（低学年向け）



あだち環境学習ワークブック（高学年向け）

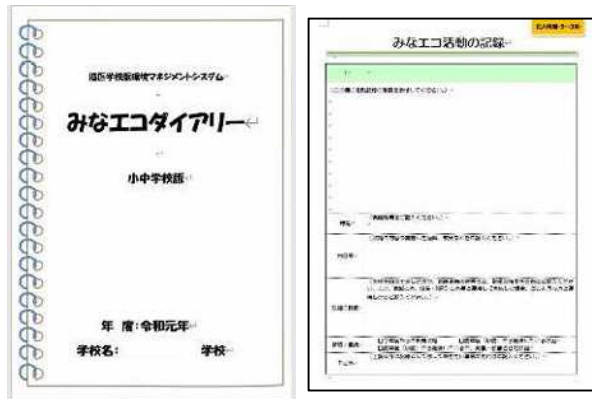


あだち環境学習サイト



港区学校版環境マネジメントシステム（みなエコ）と表彰制度

学校での環境活動を日記形式で報告



地球温暖化防止活動環境大臣表彰 平成29年度環境教育活動部門受賞

港区学校版環境マネジメントシステム (みなと子どもエコアクション：通称「みなエコ」)

港区教育委員会

住所：〒105-8511 東京都港区芝公園1-5-25 TEL：03-3578-2111(代表)

「みなエコ」活動を通して、園児・児童・生徒と教職員が一体となって、学校生活の中で継続的に温暖化防止活動に取り組んだ。環境教育の推進、環境負荷の低減、地域に根ざした活動の推進を目的に、推進するためのルールを取りまとめ、12年間に渡って子どもたちの環境意識を育て、行動への結び付けを図った。子どもたちの意識や行動を変え、さらに各家庭での省エネ・省資源への取り組みへと繋げ、様々な環境活動が地域全体へと波及し、温暖化対策につながった。



幼稚園・学校・地域でエコ活動に取り組みます

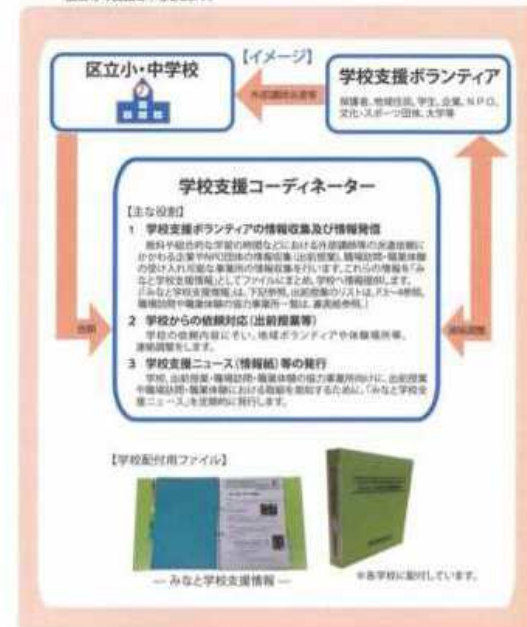
表彰制度



学校支援地域本部事業との連携

港区学校支援地域本部事業の活動としくみ

- 方向性
学校支援コーディネーターを集中配置し、学校毎への支援ができ、かつ、学校が必要な時に必要な支援を行います。
- 支援内容
授業等の支援を中心とします。



環境省COOL CHOICEアプリ



福島県環境アプリ

<アプリの4つの特徴>

